

第3章：中区のめざす将来像

1. めざす将来像

～みんなが**安心**を感じ、**魅力**をつなぎ、**活力**を生む～
成長の歩みを止めない中区

前計画からのめざす将来像を引き継ぎ、人口減少・高齢化の進行など、厳しい社会情勢の中でも、現状に満足してとどまることなく、昨日より今日を、今日より明日をよりよくするために進み続ける地域をめざします。

2. 区政運営の方向性

～共感と協働で現代から次世代へ～

将来像の実現に向けて、本計画のサブタイトルである「共感と協働」と「現代から次世代へ」という2つの観点と、「広報力の強化」と「組織力の強化」を加えた4つの方向性を念頭に区政運営に取り組みます。

■ 共感と協働

将来像の実現に向けて行政が単独で決定するのではなく、中区に暮らす人たちが地域活動の担い手、民間事業者等と気持ちを合わせ、一緒になって様々な施策を進めます。

■ 現代から次世代へ

現代に受け継がれ、育まれてきた中区の持つ地域資源の魅力や人と人とのつながりをより高めた上で、次世代へ引き継ぎます。

■ 広報力の強化

中区の魅力や取組の発信に当たっては、ICTの活用等により情報を受け取る方に応じた工夫をするなど区役所の「情報発信力」を強化します。また、中区に暮らす人たちの「情報受信力」の強化を支援する取組を行うことで、双方向からの「広報力の強化」を図ります。

■ 組織力の強化

区役所職員の業務遂行に当たり、職員を孤立させず、組織として職員をフォローすることで、職員が一人で抱え込むことなく、パフォーマンスを最大限発揮できるよう、役職や立場、部署間の垣根を越えて活発にコミュニケーションが取れる風通しの良い職場環境の形成を図ります。